

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 丸尾カルシウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4102 URL http://www.maruo-cal.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 源吉嗣郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 今井一史 TEL 078-942-2112
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	9,640	8.0	466	8.3	577	9.8	369	5.3
2018年3月期第3四半期	8,929	1.9	431	△24.7	526	△21.5	350	△25.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 251百万円 (△36.7%) 2018年3月期第3四半期 397百万円 (△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	165.23	156.34
2018年3月期第3四半期	156.41	147.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	14,300	8,554	56.7
2018年3月期	14,155	8,332	55.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 8,103百万円 2018年3月期 7,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	△0.3	415	△17.8	490	△20.2	315	△17.9	140.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	2,355,200株	2018年3月期	2,342,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	103,329株	2018年3月期	127,129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	2,237,071株	2018年3月期3Q	2,243,231株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 役員の変動	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年12月31日)の世界経済については、為替相場は比較的安定に推移したものの、米中による貿易摩擦の拡大が世界経済全体への重しとなり、不安定な状態が続きました。

米国経済は株式相場下落があったものの、堅調な個人消費、労働市場の回復に支えられ好調を維持しており、FRBによる利上げ、金融緩和縮小も進みました。ただ、大型減税効果も出尽くして、今後のトランプ大統領の政策動向に注意が必要です。欧州経済は、難民政策への反動からポピュリズムが力を持ち始め、ブレグジットの混乱もあり、不安定な局面にあります。中国経済も過剰生産能力の削減、米中貿易摩擦による輸出の減少等から、減速傾向が鮮明となりました。新興国も資源価格の持ち直しはあるものの、ドル資金の還流により不安定な状況にあります。

日本経済は、米中摩擦の影響が出ている輸出産業が減速傾向ですが、個人消費、企業収益は堅調を維持しており、労働需給は逼迫しています。また、物流コストの上昇が目につきました。

このような状況下、当社グループにおきましては、国内では好調な建設需要向け製品を中心に供給能力の向上に努め、海外では自動車向け製品の販売増加により、売上高は96億40百万円(前年同期比7億10百万円、8.0%増)と順調に推移しました。営業利益は、人件費、原材料費、燃料費等の上昇、設備維持費用の増加もありましたが、増収効果から4億66百万円(前年同期比35百万円、8.3%増)となりました。経常利益は為替差益もあり5億77百万円(前年同期比51百万円、9.8%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億69百万円(前年同期比18百万円、5.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し143億円となりました。これは主に受取手形及び売掛金3億68百万円、建物及び構築物66百万円などの増加に対し、減価償却の進行による機械装置及び運搬具1億30百万円、保有上場株式の価格低下による投資有価証券1億43百万円などの減少によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し57億46百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金1億46百万円の増加に対し、賞与引当金98百万円、短期借入金64百万円、未払法人税等52百万円などの減少によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億21百万円増加し85億54百万円となりました。これは主に、利益剰余金3億3百万円の増加に対し、保有上場株式の価格低下によるその他有価証券評価差額金1億4百万円の減少によるものです。自己資本比率は前連結会計年度末の55.7%から56.7%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月8日公表の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,785,127	1,752,781
受取手形及び売掛金	4,621,442	4,989,605
商品及び製品	463,173	415,719
仕掛品	95,414	100,474
原材料及び貯蔵品	269,754	320,618
その他	168,346	157,699
貸倒引当金	△2,270	△2,416
流動資産合計	7,400,989	7,734,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,130,674	1,197,241
機械装置及び運搬具(純額)	1,608,657	1,478,168
土地及び砵山用土地	598,510	598,510
建設仮勘定	94,296	119,614
その他(純額)	63,824	55,552
有形固定資産合計	3,495,963	3,449,088
無形固定資産	40,835	38,981
投資その他の資産		
投資有価証券	2,813,120	2,669,775
投資不動産(純額)	242,441	240,993
その他	165,212	170,128
貸倒引当金	△3,365	△3,365
投資その他の資産合計	3,217,408	3,077,532
固定資産合計	6,754,206	6,565,602
資産合計	14,155,196	14,300,085
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,975,260	2,121,418
短期借入金	729,470	664,904
1年内償還予定の社債	—	500,000
未払金	488,583	459,059
未払法人税等	88,152	35,414
賞与引当金	186,900	88,200
役員賞与引当金	17,190	11,450
その他	152,124	192,536
流動負債合計	3,637,682	4,072,983
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	405,000	373,453
退職給付に係る負債	663,767	694,478
その他	616,084	605,165
固定負債合計	2,184,851	1,673,097
負債合計	5,822,534	5,746,081

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	871,500	876,552
資本剰余金	435,622	453,340
利益剰余金	5,146,174	5,449,352
自己株式	△131,940	△107,239
株主資本合計	6,321,356	6,672,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,510,821	1,406,657
為替換算調整勘定	52,866	24,455
その他の包括利益累計額合計	1,563,687	1,431,113
新株予約権	97,176	87,085
非支配株主持分	350,442	363,801
純資産合計	8,332,662	8,554,004
負債純資産合計	14,155,196	14,300,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	8,929,864	9,640,503
売上原価	7,070,500	7,699,012
売上総利益	1,859,363	1,941,491
販売費及び一般管理費	1,428,282	1,474,637
営業利益	431,081	466,853
営業外収益		
受取利息	1,431	1,406
受取配当金	39,285	42,089
不動産賃貸料	47,782	47,769
為替差益	—	13,563
その他	18,965	15,919
営業外収益合計	107,465	120,748
営業外費用		
支払利息	6,363	5,256
為替差損	165	—
その他	5,701	4,591
営業外費用合計	12,230	9,847
経常利益	526,315	577,753
特別利益		
固定資産売却益	609	857
特別利益合計	609	857
特別損失		
固定資産処分損	24,188	20,482
特別損失合計	24,188	20,482
税金等調整前四半期純利益	502,737	558,129
法人税、住民税及び事業税	101,071	131,992
法人税等調整額	32,967	34,131
法人税等合計	134,039	166,123
四半期純利益	368,698	392,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,828	22,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,870	369,624

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	368,698	392,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,775	△104,167
為替換算調整勘定	8,639	△36,578
その他の包括利益合計	28,415	△140,746
四半期包括利益	397,113	251,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,209	237,050
非支配株主に係る四半期包括利益	19,904	14,208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

当社グループは、炭酸カルシウムの製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

3. 役員の変動

(1) 昇格取締役 (2019年4月1日付)

氏名	新	現
深津 秀郎	専務取締役	常務取締役

(2) 役員の変務委嘱の変更 (2019年4月1日付)

氏名	新	現
取締役副社長 今井 一史	最高財務責任者 (CFO) コンプライアンス・関係会社担当 アジア事業部・中国事業統括部管掌 <u>管理本部長兼財務部長</u>	最高財務責任者 (CFO) コンプライアンス・関係会社担当 アジア事業部・中国事業統括部管掌